

まちに、夢を描こう。



2022年度(2023年3月期) 第2四半期決算・ 長期ビジョン説明会

2022年11月21日(月)

西日本鉄道株式会社
(9031)

アジェンダ

1

2022年度第2四半期 決算概要

2

2022年度 通期業績予想

3

“修正”第15次中期経営計画(2019~2022)
進捗状況

4

(別冊) 新長期ビジョン
『にしてつグループまち夢ビジョン2035』

2022年度第2四半期 決算概要

連結営業概況（2022年度 第2四半期）

連結の範囲(期末)・・・子会社 82社、関連会社 37社

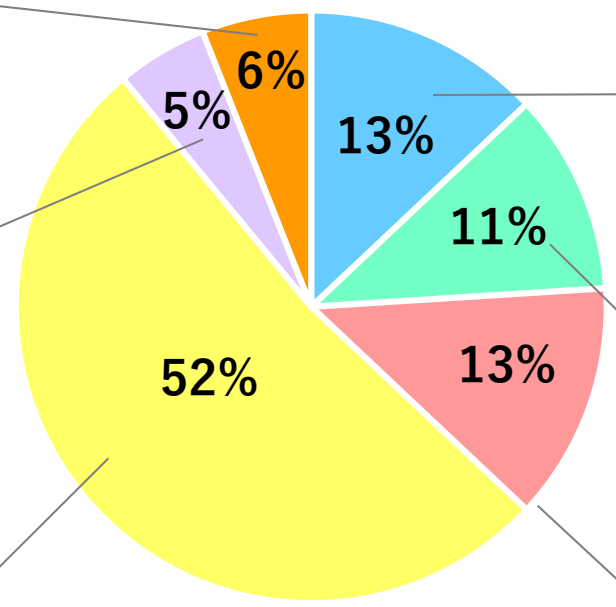
- ・ 福岡を事業基盤とする生活関連企業…運輸業、不動産業、流通業 等
- ・ 西鉄ブランドを基盤に域外展開…国際物流事業、住宅事業、ホテル事業 等

連結営業収益 253,515 百万円

その他	車両整備関連	42 %
	建設関連	36 %
	他	22 %
営業収益	14,457 百万円	

レジャー・サービス業	ホテル	59 %
	娯楽	11 %
	他	30 %
営業収益	13,890 百万円	

物流業	国際物流	97 %
	国内物流	3 %
営業収益	135,990 百万円	



運輸業	鉄道	24 %
	バス	61 %
	他	15 %
営業収益	34,625 百万円	

不動産業	賃貸	39 %
	住宅	43 %
	他	18 %
営業収益	29,368 百万円	

流通業	ストア	93 %
	生活雑貨販売	7 %
営業収益	34,110 百万円	

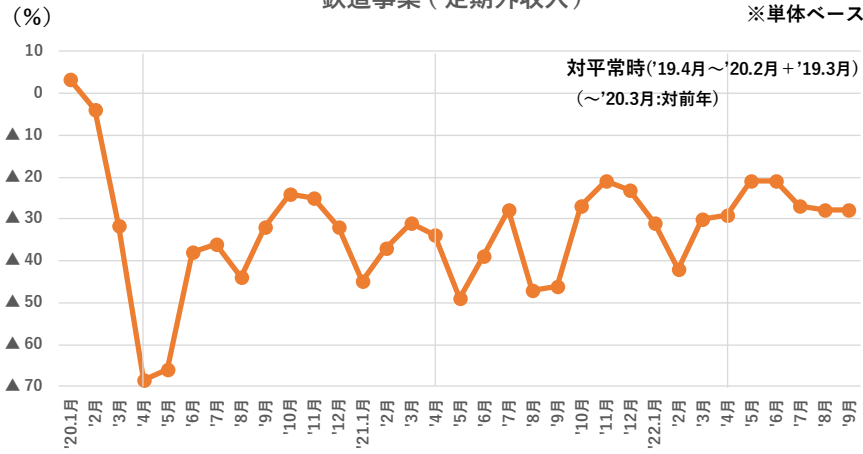
※調整額 ▲8,926 百万円

主な事業の動向

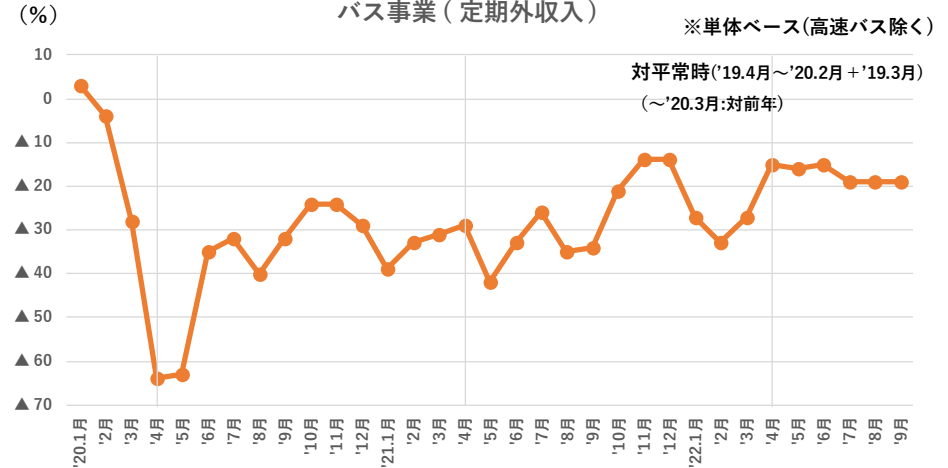
主な事業の動向（鉄道事業、バス事業、ホテル事業、福岡国際空港）

：新型コロナウイルス感染症による行動制限の緩和等により、徐々に持ち直しているが平常時の水準までには回復していない

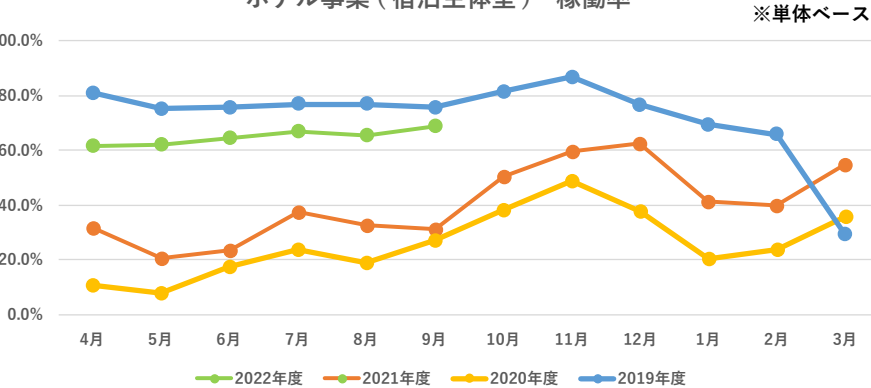
鉄道事業（定期外収入）



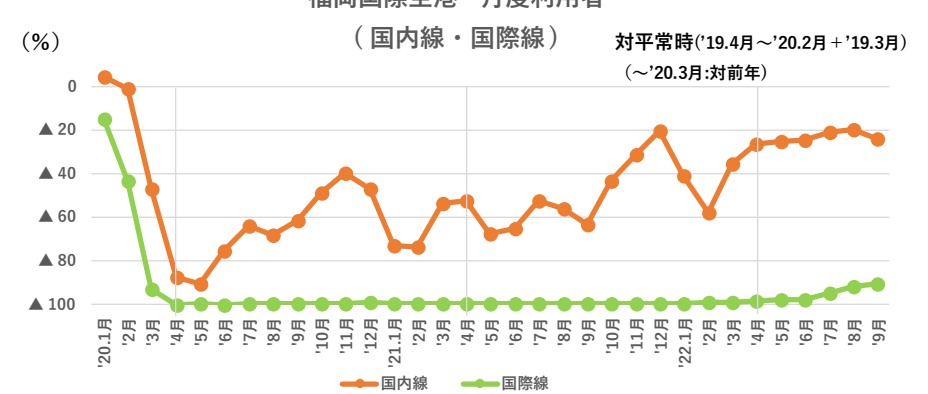
バス事業（定期外収入）



ホテル事業（宿泊主体型）稼働率



福岡国際空港 月度利用者



連結損益の実績（全業）

(百万円)

	2022/2Q	2021/2Q	増減	増減率	8月公表	差異
営業収益	253,515	187,727	65,788	35.0 %	245,100	8,415
営業利益	11,527	374	11,152	-	8,700	2,827
経常利益	13,169	605	12,564	-	8,000	5,169
親会社株主に帰属する 四半期純利益	8,782	1	8,781	-	3,700	5,082
事業利益	11,414	▲424	11,839	-		
減価償却費	8,955	9,518	▲562	▲5.9 %		
EBITDA	20,468	9,191	11,276	122.7 %		
設備投資	9,488	6,743	2,744	40.7 %		

※事業利益 = 営業利益 + 事業投資に伴う受取配当金・持分法投資損益等

※EBITDA = 事業利益 + 減価償却費 + のれん償却費(営業費)

連結決算サマリー（対前年の主な増減要因）

営業収益・営業利益（増収・増益）

：物流業の国際物流事業で運賃原価の高止まりによる販売価格の増加

：運輸業やレジャー・サービス業で行動制限緩和等による前年同期からの需要回復

1. 運輸業

※ 実質 … 事業内部取引除く

(百万円)

	2022/2Q	2021/2Q	増減	増減率
営業収益	34,625	30,019	4,605	15.3 %
鉄道	9,341	8,150	1,191	14.6 %
バス	23,687	20,917	2,769	13.2 %
(実質)	21,952	19,111	2,840	14.9 %
他	5,649	4,845	803	16.6 %
調整	▲4,053	▲3,894	▲159	-
営業利益	▲782	▲3,931	3,148	-
鉄道	248	▲418	667	-
バス	▲1,083	▲3,094	2,010	-
減価償却費	3,093	3,664	▲570	▲15.6 %
EBITDA	2,310	▲246	2,557	-
設備投資	1,089	1,662	▲573	▲34.5 %

※ EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費(営業費)

営業収益・営業利益の主な増減要因

鉄道、バス： (+) 行動制限緩和等による前年同期からの需要回復

当期の主な設備投資

天神大牟田線春日原～下大利駅間連続立体交差工事

天神大牟田線雑餉隈駅付近連続立体交差工事

サブセグメントの営業収益・営業利益
…単純集計であり、内部取引の消去は
行っていません (以下同じ)

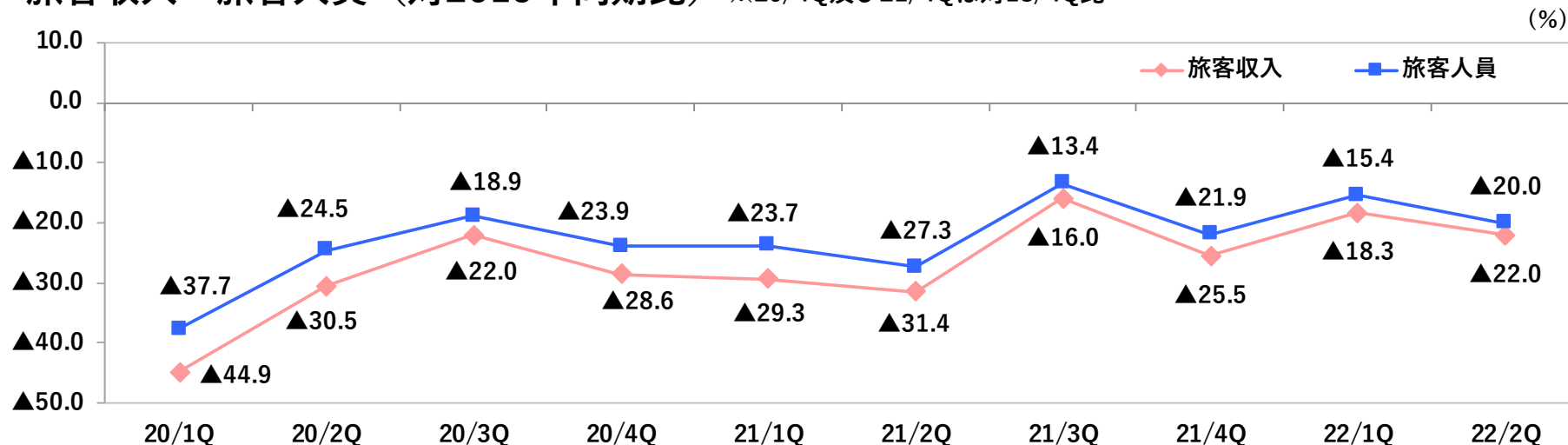
～鉄道事業（旅客収入及び旅客人員）～

(百万円、千人)

	2022/2Q	2021/2Q	対2021/2Q		対2019/2Q	
			増減	増減率	増減	増減率
旅客収入	8,896	7,758	1,137	14.7 %	▲2,245	▲20.2 %
旅客人員	47,458	42,967	4,491	10.5 %	▲10,221	▲17.7 %
定期外	19,023	15,879	3,144	19.8 %	▲6,648	▲25.9 %
定期	28,435	27,088	1,347	5.0 %	▲3,573	▲11.2 %

天神大牟田線	(対 '21/2Q)	(対 '19/2Q)	貝塚線	(対 '21/2Q)	(対 '19/2Q)
旅客人員	10.8 %	▲18.4 %	旅客人員	9.3 %	▲10.0 %
定期外	20.4 %	▲26.4 %	定期外	15.4 %	▲21.6 %
定期	5.2 %	▲12.0 %	定期	5.5 %	0.1 %

旅客収入・旅客人員（対2019年同期比） ※20/4Q及び21/4Qは対18/4Q比



～バス事業（乗合・貸切・特定収入及び乗合人員）～

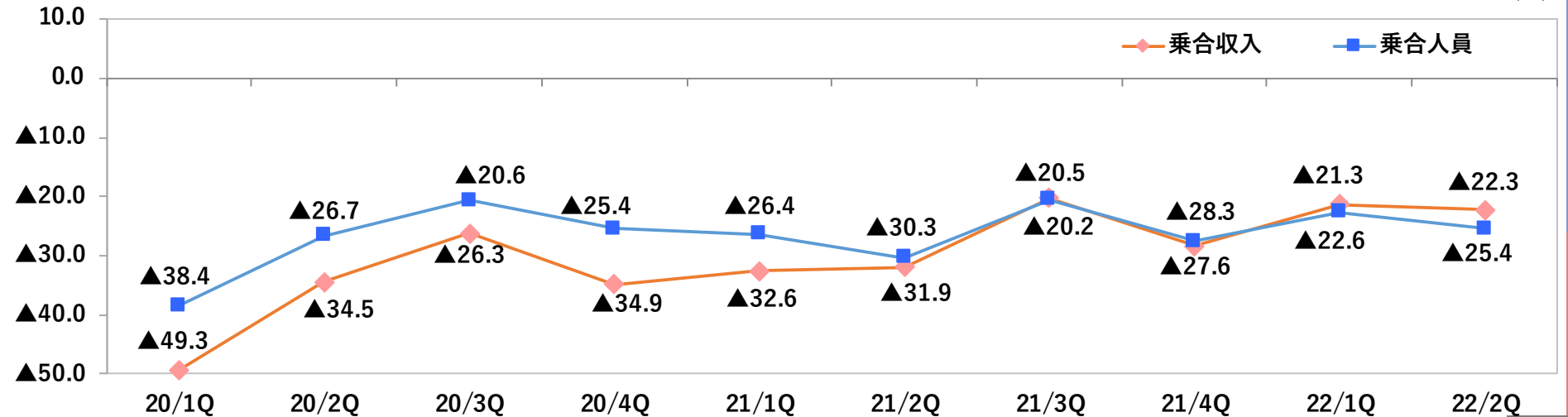
(百万円、千人)

	2022/2Q	2021/2Q	対2021/2Q		対2019/2Q	
			増減	増減率	増減	増減率
乗合収入	19,557	16,945	2,612	15.4 %	▲5,457	▲21.8 %
貸切・特定収入	1,435	1,235	199	16.2 %	▲646	▲31.0 %
乗合人員	105,023	98,985	6,038	6.1 %	▲33,162	▲24.0 %
定期外	59,004	52,065	6,939	13.3 %	▲17,723	▲23.1 %
定期	46,019	46,920	▲901	▲1.9 %	▲15,439	▲25.1 %

乗合収入・乗合人員（対2019年同期比）

※20/4Q及び21/4Qは対18/4Q比

(%)



2. 不動産業

(百万円)

	2022/2Q	2021/2Q	増減	増減率
営業収益	29,368	31,613	▲2,245	▲7.1 %
賃貸	12,223	11,922	301	2.5 %
住宅	13,423	15,698	▲2,275	▲14.5 %
営業利益	2,507	3,193	▲685	▲21.5 %
賃貸	2,360	2,458	▲97	▲4.0 %
住宅	▲87	341	▲429	-
減価償却費	2,818	2,809	9	0.3 %
EBITDA	5,356	6,002	▲645	▲10.8 %
設備投資	5,091	2,804	2,287	81.6 %

※EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費(営業費) (戸、区画)

営業収益・営業利益の主な増減要因

賃貸：(+) 商業施設の賃貸収入回復

住宅：(▲) 分譲マンション販売戸数減少

当期の主な設備投資

福ビル街区建替プロジェクト(2025年春開業)

	2022/2Q	増減
販売区画数	244	▲107
マンション	166	▲94
戸建	74	▲14
リノベーション	4	1

3. 流通業

(百万円)

	2022/2Q	2021/2Q	増減	増減率
営業収益	34,110	34,286	▲176	▲0.5 %
ストア	31,699	32,068	▲369	▲1.2 %
生活雑貨販売	2,411	2,227	183	8.3 %
営業利益	▲304	153	▲457	-
ストア	▲257	163	▲421	-
生活雑貨販売	14	28	▲14	▲49.7 %
減価償却費	424	463	▲38	▲8.3 %
EBITDA	120	616	▲496	▲80.5 %
設備投資	603	350	252	72.0 %

※EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費(営業費)

営業収益・営業利益の主な増減要因

ストア : (▲) 節約志向の高まりなどによる既存店売上減少
仕入価格高騰などによる粗利率の減少

4. 物流業

(百万円)

	2022/2Q	2021/2Q	増減	増減率
営業収益	135,990	77,560	58,429	75.3 %
国際物流	144,710	81,273	63,436	78.1 %
国内物流	5,206	5,285	▲78	▲1.5 %
調整	▲13,926	▲8,998	▲4,927	-
営業利益	11,199	4,763	6,435	135.1 %
国際物流	11,225	4,696	6,528	139.0 %
国内物流	62	183	▲120	▲66.0 %
調整	▲88	▲115	27	-
減価償却費	961	858	102	11.9 %
E B I T D A	12,227	5,700	6,526	114.5 %
設備投資	751	729	21	2.9 %

※EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費(営業費)

営業収益・営業利益の主な増減要因

国際物流：（+）運賃原価の高止まりによる販売価格の増加

国内物流：（▲）貨物取扱数量の減少

～国際物流事業（取扱数量）～

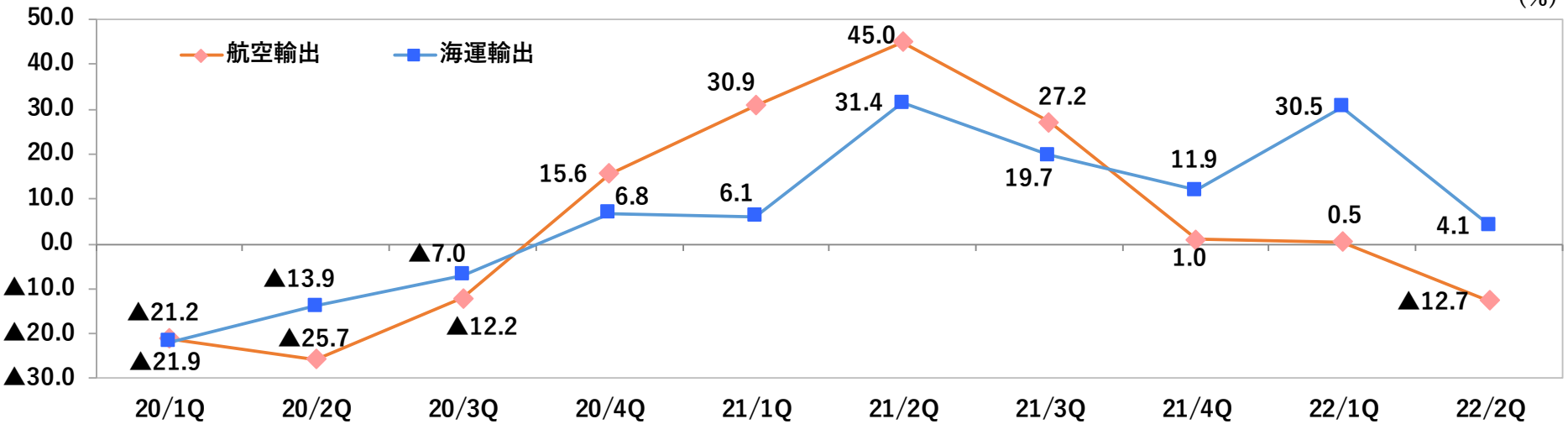
※参考（左記数量のうち、海外子会社取扱高）

	2022/2Q	増減	増減率
航空輸出（千トン）	68	▲4	▲6.1 %
航空輸入（千件）	192	▲3	▲1.7 %
海運輸出（千TEU）	52	7	15.7 %
海運輸入（千TEU）	71	7	10.9 %

	2022/2Q	増減	増減率
	39	▲0	▲1.7 %
	144	1	0.8 %
	38	6	20.3 %
	45	3	8.4 %

航空輸出・海運輸出取扱量（対前年同期比）

(%)



5. レジャー・サービス業

※ 実質… 事業内部取引除く

(百万円)

	2022/2Q	2021/2Q	増減	増減率
営業収益	13,890	8,982	4,907	54.6 %
ホテル	11,555	6,893	4,662	67.6 %
(実質)	6,557	3,189	3,368	105.6 %
旅行	1,103	594	509	85.8 %
娯楽	2,207	1,893	313	16.6 %
営業利益	▲1,185	▲4,244	3,059	-
ホテル	▲1,773	▲3,833	2,059	-
旅行	▲21	▲405	383	-
娯楽	552	221	330	149.4 %
減価償却費	1,337	1,439	▲102	▲7.1 %
EBITDA	151	▲2,804	2,956	-
設備投資	1,122	1,079	43	4.1 %

※EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費(営業費)

営業収益・営業利益の主な増減要因

ホテル： (+) 行動制限緩和等による前年同期からの稼働上昇

当期の主な設備投資

西鉄ホテルクルーム博多祇園櫛田神社前(2023年4月12日開業)

～ホテル事業（客室単価・稼働率・Rev PAR）～

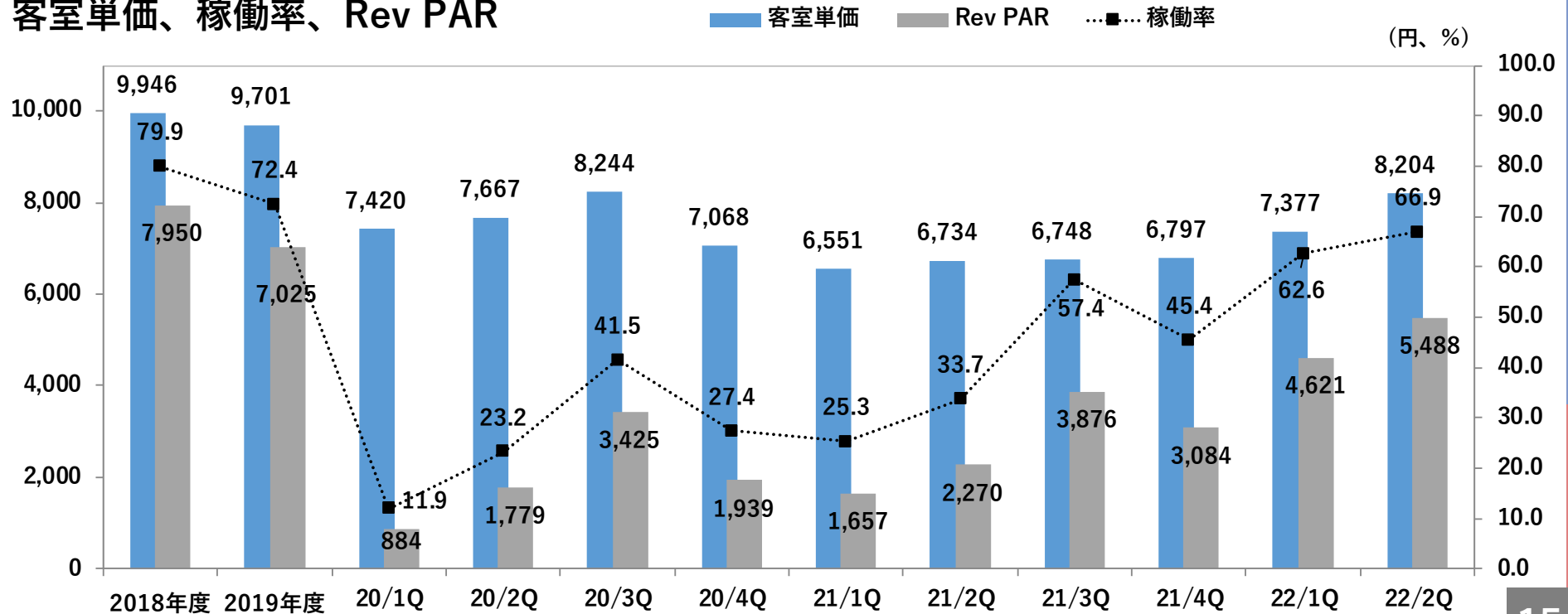
国内宿泊主体型ホテルの客室単価・稼働率・Rev PAR

※Rev PAR = 客室単価 × 稼働率

	2022/2Q		2021/2Q		対2021/2Q		対2019/2Q	
	増減	増減率	増減	増減率	増減	増減率	増減	増減率
客室単価(円)	7,807 (7,807)		6,656 (6,759)		1,151 (1,048)	17.3% (15.5%)	▲2,113	▲21.3%
稼働率(%)	64.8 (64.8)		29.5 (29.5)		35.3P (35.3P)	-	▲12.0P	-
Rev PAR(円)	5,058 (5,058)		1,965 (1,994)		3,093 (3,064)	157.4% (153.7%)	▲2,558	▲33.6%

()内は、既存ホテル数値：当期および前期のいずれにも営業していたホテルを対象

客室単価、稼働率、Rev PAR



6. その他

(百万円)

	2022/2Q	2021/2Q	増減	増減率
営業収益	14,457	13,521	935	6.9 %
営業利益	299	504	▲204	▲40.5 %
減価償却費	508	501	7	1.4 %
EBITDA	808	1,005	▲197	▲19.6 %
設備投資	1,056	300	755	251.0 %

※EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費(営業費)

営業収益・営業利益の主な増減要因

- (+) 建設関連事業での大型工事の受注
- (▲) 金属リサイクル事業での販売数量の減少

その他・・・ICカード事業、車両整備関連事業、建設関連事業、金属リサイクル事業

連結貸借対照表

(百万円)

	2022年9月末	2022年3月末	増 減	摘要
資 産 合 計	669,770	734,500	▲64,730	
流 動 資 産	214,410	211,422	2,987	販売土地及び建物の増加
固 定 資 産	455,359	523,077	▲67,718	前受金による固定資産の直接減額 (天神大牟田線連続立体交差事業)
負 債 合 計	476,676	555,416	▲78,740	
流 動 負 債	135,956	198,394	▲62,438	前受金の減少 (天神大牟田線連続立体交差事業)
固 定 負 債	340,719	357,021	▲16,301	借入金の減少
純 資 産 合 計	193,093	179,084	14,009	利益剰余金の増加 為替換算調整勘定の増加
有利子負債残高	338,061	347,793	▲9,732	

※有利子負債 = 借入金 + 社債

連結キャッシュ・フロー

(百万円)

	2022/2Q	2021/2Q	増 減
営 業 活 動	17,241	6,108	11,132
(税金等調整前四半期純利益)	13,507	1,490	12,017
(減価償却費)	8,955	9,518	▲562
(売上債権の増減額)	4,065	4,939	▲873
(仕入債務の減少額)	▲2,712	▲8,755	6,042
投 資 活 動	▲10,180	▲6,286	▲3,894
(固定資産の取得)	▲10,610	▲15,020	4,409
(投資有価証券の取得)	▲1,400	▲1,653	253
(工事負担金等受入による収入)	4,081	6,891	▲2,809
財 務 活 動	▲13,919	10,089	▲24,009
(有利子負債)	▲11,114	11,941	▲23,056
(配当金の支払額)	▲1,379	▲986	▲393
	2022年9月末	2021年3月末	増 減
現金等の期末残高	66,048	70,612	▲4,563

2022年度通期業績予想

2022年度通期業績予想

(百万円)

	2022年度 (予想)	2021年度 (実績)	増減	増減率	前回公表 (22/8公表)	差異
営業収益	495,800	427,159	68,640	16.1 %	469,200	26,600
営業利益	20,000	10,451	9,548	91.4 %	17,000	3,000
経常利益	20,500	13,953	6,546	46.9 %	15,800	4,700
親会社株主に帰属する 当期純利益	12,800	9,873	2,926	29.6 %	8,100	4,700
事業利益	19,423	11,385	8,037	70.6 %		
減価償却費	19,381	19,411	▲30	▲0.2 %		
E B I T D A	38,954	30,965	7,988	25.8 %		
設備投資	31,237	16,043	15,193	94.7 %		

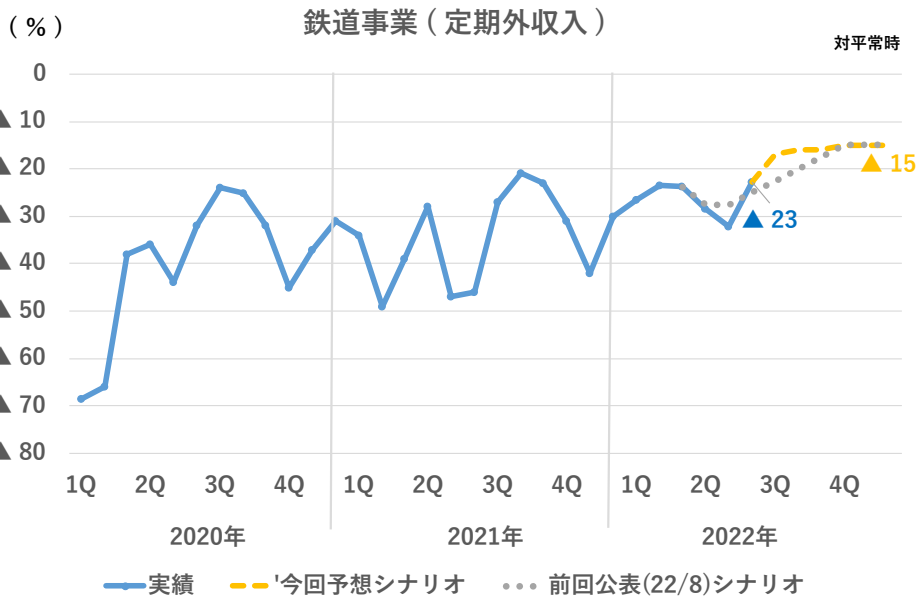
※事業利益 = 営業利益 + 事業投資に伴う受取配当金・持分法投資損益等

※EBITDA = 事業利益 + 減価償却費 + のれん償却費(営業費)

主なセグメントの業績予想の前提（回復シナリオ）

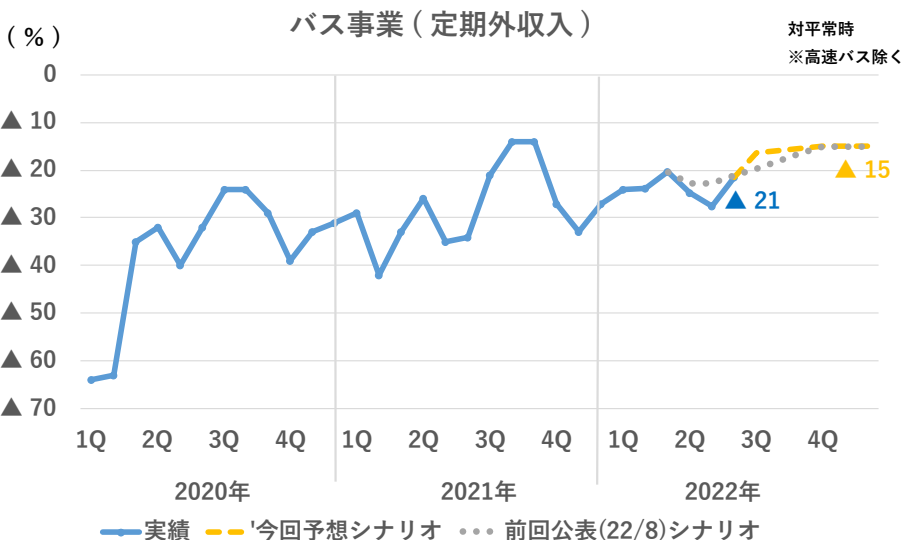
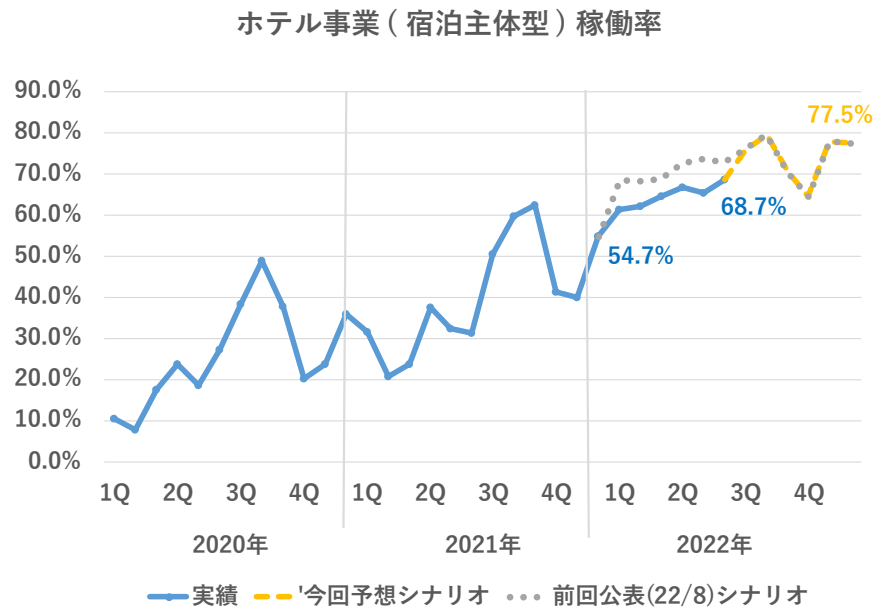
運輸業（鉄道事業・バス事業）

※単体ベース



レジャー・サービス業（ホテル事業）

※単体ベース



2022年度 セグメント別業績予想

(億円)

		2022年度 (予想)	2021年度 (実績)	増減	営業利益の主な増減 ()は主な増減要因	前回公表 (22/8公表)	差異
全業	営業収益	4,958	4,272	686		4,692	266
	営業利益	200	105	95		170	30
運輸業	営業収益	699	639	60	バス事業、鉄道事業の増益[損失幅の縮小]	702	▲3
	営業利益	▲8	▲47	39	(需要の回復による増収)	▲6	▲2
不動産業	営業収益	784	741	43	賃貸事業の減益	776	8
	営業利益	59	82	▲23	(商業施設リニューアル関連費用の増加)	59	0
流通業	営業収益	695	687	8	ストア業の減益	703	▲8
	営業利益	0	6	▲6	(仕入価格の高騰による粗利率の減少)	3	▲3
物流業	営業収益	2,332	1,862	470	国際物流事業の増益	2,074	258
	営業利益	161	115	46	(運賃原価の高止まりによる販売価格の増加)	128	33
レジャー・サービス業	営業収益	310	212	98	ホテル事業の増益[損失幅の縮小]	307	3
	営業利益	▲15	▲66	51	(需要の回復による増収)	▲18	3
その他	営業収益	318	301	17	金属リサイクル事業の減益	320	▲2
	営業利益	10	17	▲7	(粗利減)	12	▲2

< 参考 > 2022年度 主なサブセグメント別業績予想

(億円)

		2022年度 (予想)	2021年度 (実績)	増減	前回公表 (22/8公表)	差異	
運輸業	鉄道事業	営業収益	194	172	23	195	▲0
		営業利益	10	▲0	10	12	▲2
	バス事業	営業収益	479	434	45	481	▲2
		営業利益	▲18	▲46	28	▲18	0
不動産業	賃貸事業	営業収益	248	244	4	247	1
		営業利益	40	54	▲14	38	2
	住宅事業	営業収益	461	420	41	453	9
		営業利益	16	22	▲5	17	▲1
物流業	国際物流事業	営業収益	2,482	1,962	520	2,193	289
		営業利益	161	114	47	128	33
レジャー・サービス業	ホテル事業	営業収益	268	163	104	272	▲4
		営業利益	▲23	▲65	42	▲25	2
	旅行事業	営業収益	23	13	9	23	▲0
		営業利益	1	▲7	8	1	▲0
	娯楽事業	営業収益	38	40	▲3	36	1
		営業利益	5	6	▲1	3	2

※サブセグメントの営業収益・営業利益は単純集計であり、内部取引の消去は行っていません。

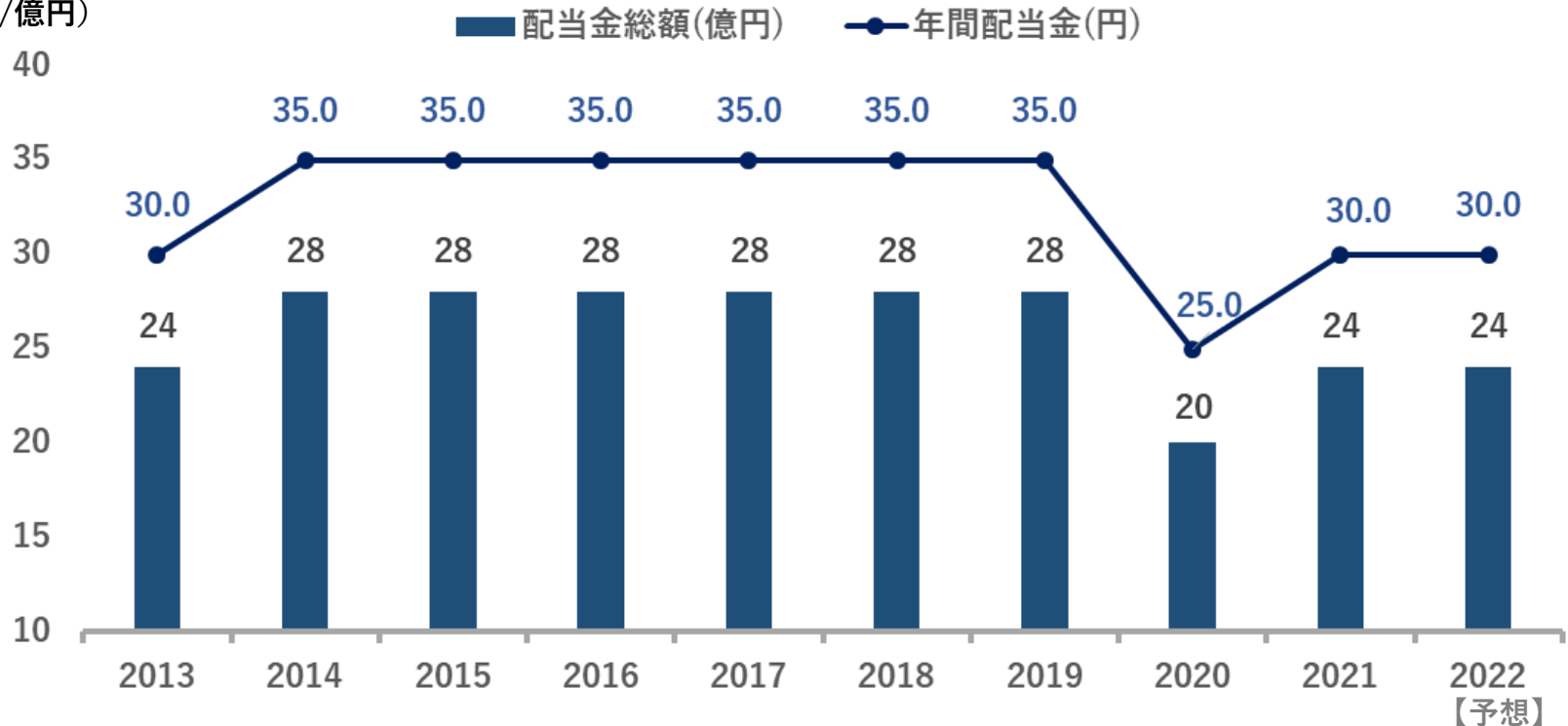
株主還元

配当政策

- ・安定した利益還元を重視
- ・適切な内部留保の確保による財務体質及び経営基盤の強化を図り、安定的・継続的な配当実施

《参考》配当金の推移

(円/億円)

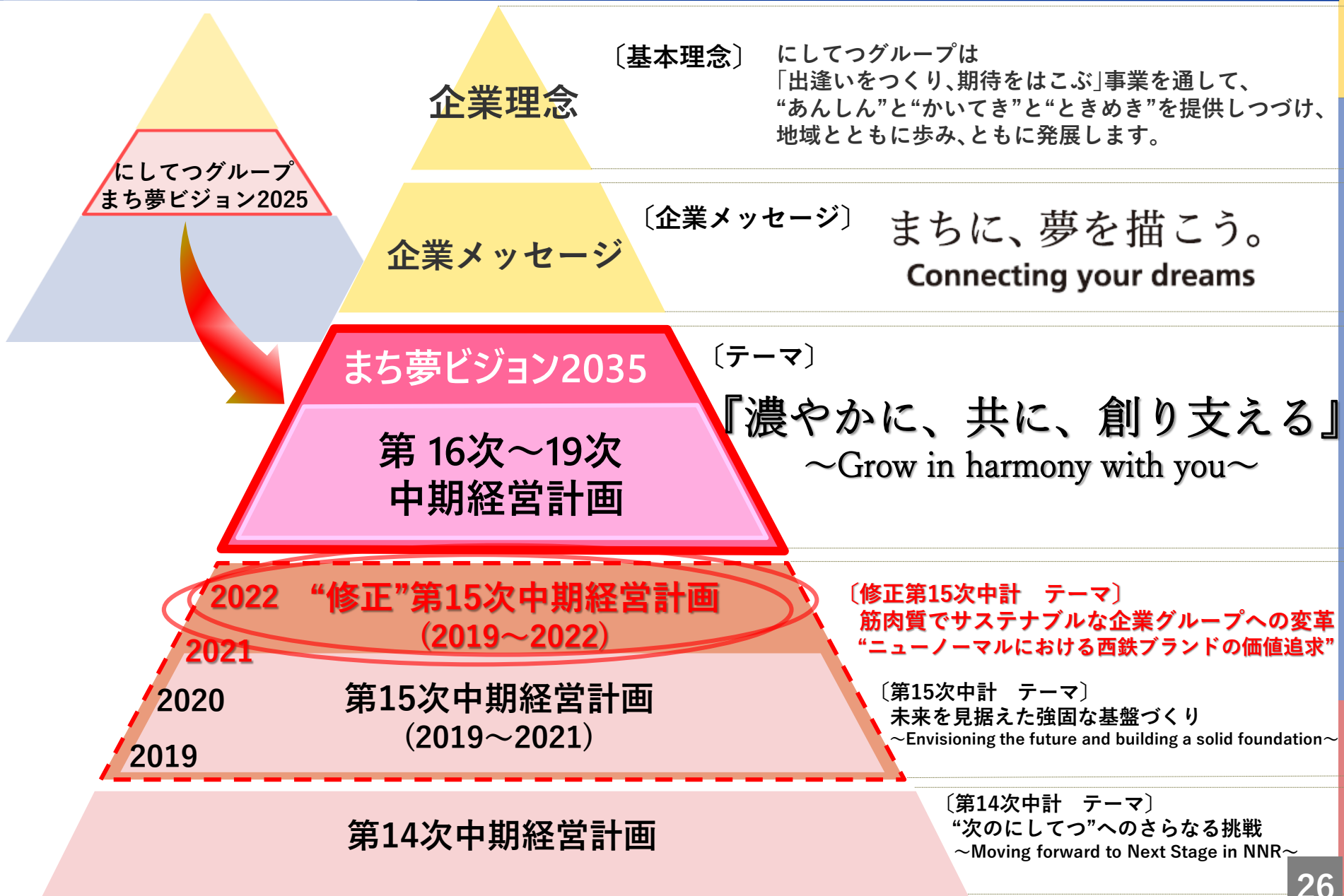


連結配当性向	20.9%	26.6%	18.2%	22.7%	23.9%	43.6%	41.3%	-	23.9%	18.5%
--------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	---	-------	-------

※2017年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合をもって株式併合を実施
本グラフにおいては、当該株式併合を勘案した配当金を記載

“修正”第15次中期経営計画(2019～2022) 進捗状況

西鉄グループの経営戦略



筋肉質でサステナブルな企業グループへの変革 “ニューノーマルにおける西鉄ブランドの価値追求”

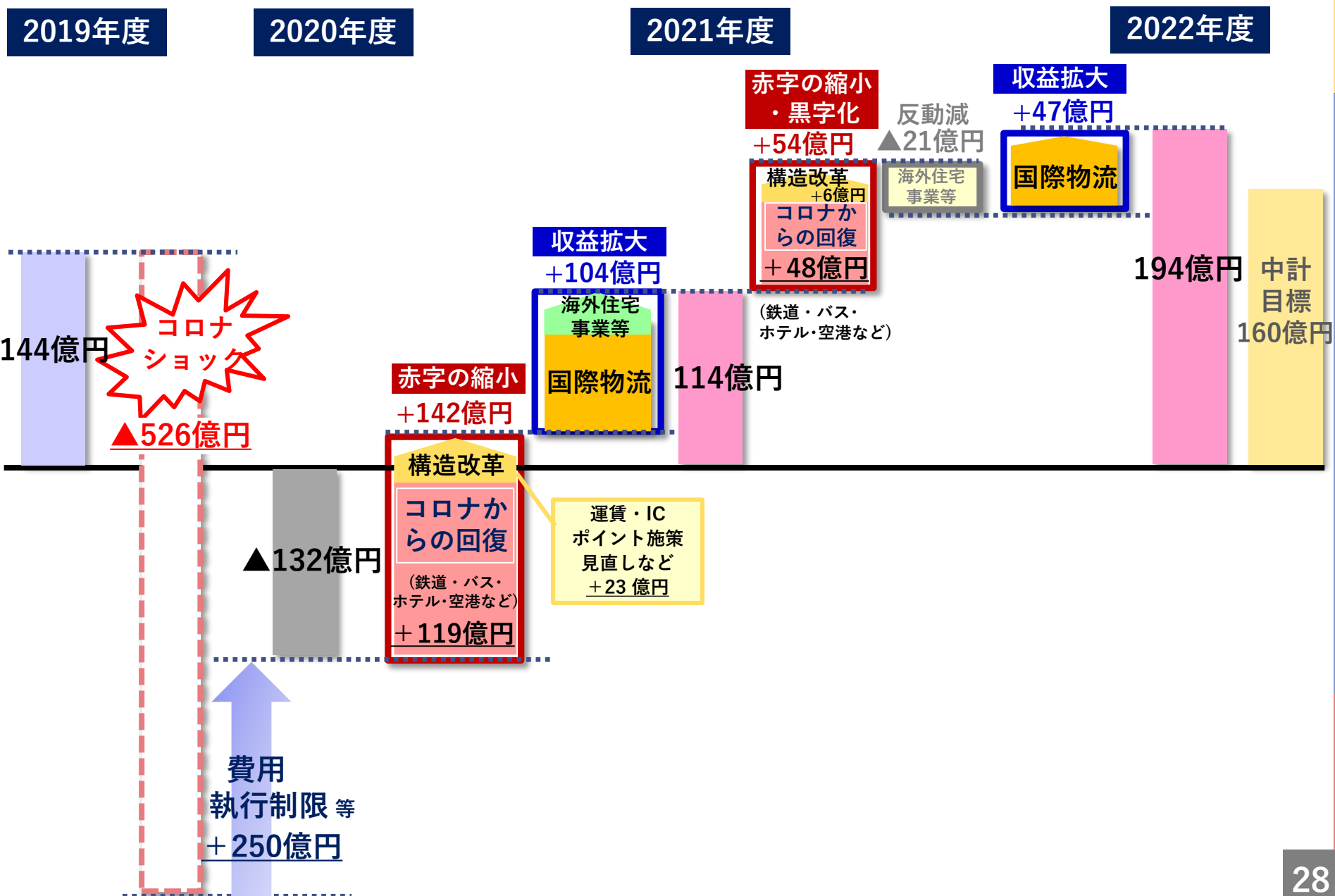
基本方針

聖域なき構造改革とニューノーマル下での成長戦略を着実に推し進め、
ウィズコロナ・ポストコロナ社会においても存続し成長に向かう
企業グループを目指す

重点戦略

- 1 聖域なき構造改革・事業モデル変革とポートフォリオの見直し
- 2 グループ経営体制・組織体制の見直し、組織風土改革
- 3 持続可能で活力あるまちづくりの推進
- 4 住宅・流通・国際物流・海外事業の収益拡大
- 5 デジタル化・新技術の活用による生産性・顧客体験の向上
- 6 ESG・SDGs視点での取り組み強化
- 7 安全・リスクマネジメントの強靱化

“修正”第15次中計最終年度の事業利益達成イメージ



重点戦略 1

聖域なき構造改革・事業モデル変革とポートフォリオの見直し

▶ ポートフォリオの見直し(赤字事業からの撤退)

9 事業から撤退する
事業について



11 任まられる
まらぶく



ホテル等	<ul style="list-style-type: none"> ✓ レストランシップマリエラの運航終了(21.01) ✓ 西鉄イン心齋橋の売却(21.04) ✓ 西鉄イン蒲田・名古屋錦の売却(22.03)
娯楽	<ul style="list-style-type: none"> ✓ かしいかえんシルバニアガーデンの閉園(21.12) ✓ ボウリング事業からの撤退[西新パレスボウル](22.03)
旅行	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 個人カウンター店舗の閉鎖(21.03)
飲食	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 不採算店舗の閉鎖



▲西鉄イン名古屋錦

▶ 運輸業における運賃施策・ICポイント施策・運営の見直し

共通	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ニモカ乗車・ボーナスポイントの廃止(21.04)
鉄道	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 普通回数乗車券の廃止(21.08) ✓ 駅集中管理方式対象駅の拡大(22.04) ✓ 高架化・利用状況に応じたダイヤ改正(22.08) ✓ 「鉄道駅バリアフリー料金制度」の導入(23.03予定)
バス	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 100円運賃施策の見直し[都心150円エリアへ](21.07) ✓ グランドパス65の見直し[価格見直し・お昼版新設](21.07) ✓ 福岡地区都市高速系統路線を値上げ(22.03) ✓ 高速バス10路線での片道運賃値上げ・割引施策見直し(22.03~09) <ul style="list-style-type: none"> ※10路線・・・福岡～熊本・北九州・直方・下関・行橋・佐賀(22.03) 福岡空港～久留米・佐賀(22.03) 福岡～長崎線(22.08)、島原(22.09) ✓ 高速バス路線の運行休止 ※北九州～別府・大分線(22.05)



▲西新パレス



▲高速バス「九州号」福岡～長崎線



グループ経営体制・組織体制の見直し、組織風土改革

ニューノーマル下での成長に適した新たな経営体制の構築

- ▶ **各部各社が自立し持続可能な経営体制の検討**
 - ✓ 資本効率やサステナビリティを意識したポートフォリオマネジメントの構築・運用
- ▶ **グループ会社における業容拡大(ビルメンテナンスサービス)**
 - ✓ (株)スピナによる(株)安川ビルサービスの全株式取得(22.06)

未来を見据えた戦略的な人材育成とモチベーション向上

- ▶ **イントレプレナー人材の育成と事業創出**
 - ✓ 第1期(2021年度)に続き、第2期(2022年度)事業創出プログラムを実施
 - ✓ 第1期通過プランの事業化検討中



新規事業創出プログラム

X-Dream

クロス

～夢を掛け合わせ、変革に挑戦～

<https://x-dream.jp/>

他社との戦略的提携・協業の推進

▶ アライアンス・M&Aによる新領域事業推進

- ✓ スタートアップ企業を対象とした成長支援・出資
スタートアップ企業等に関する情報探索等

トピックス

- ・ 商用EVの開発・販売を行う「(株)EVモーターズ・ジャパン」への出資(22.04)

- ✓ バス整備事業の知見を活かした成長支援を行うほか、EV・リユースバッテリー・フレキシブルソーラーパネル等を活用したエネルギー分野で、新領域事業の推進に向けて連携していく



- ・ 九州オープンイノベーション2号投資事業 有限責任組合へのLP出資(22.08)

- ✓ ファンドの投資対象：
福岡・九州のスタートアップ企業や福岡進出を目指す国内外のスタートアップ企業

福岡都心の大型開発プロジェクト推進

建設中 [2025年春開業]



福ビル街区建替プロジェクト

建設中

[2022年12月竣工・全体供用開始]



旧大名小学校跡地活用事業 (事業参画)



進行中

福岡空港特定運営事業等(事業参画)

出所：梓設計・隈研吾建築都市設計事務所・西日本技術開発共同企業体

2022年4月開業(ららぽーと福岡)



青果市場跡地活用事業(事業参画)

福ビル街区建替プロジェクト（2025年春開業）

創造交差点 meets different ideas ~訪れる人々を常にワクワク・ドキドキさせる新しい価値を生み出し続ける場所~
西日本最大規模の基準階面積を備えたハイスペックオフィスと商業・ホテルなどの複合ビル

➤ イノベーションキャンパスの創設

- ✓ CIC（ケンブリッジ・イノベーション・センター）と共同してイノベーションキャンパス創設の検討に着手



- ・名称：（仮称）CIC Innovation Campus Fukuoka
- ・施設構成：プライベートオフィス
 コワーキングスペース
 アメニティスペース
 （キッチンスペース・授乳室）他
- ・面積：約3,500㎡



- ✓ イノベーション創出プログラムを定期的に開催することで、イノベーター同士の交流を促進し、イノベーションの創出を推進

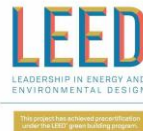
※イノベーター：スタートアップ、国内外の様々な企業、投資家、学術機関、公的機関 等

▲CIC Tokyo リフレッシュスペース(上)・イベントスペース(下)

➤ オフィス・商業テナントリーシング（順調に進捗中）

➤ 「LEED GOLD®」 予備認証の取得

- ✓ 国際的環境性能評価「LEED®」において、九州初となるゴールドランクの予備認証を取得



プロジェクト概要

所在地	福岡市中央区天神一丁目11番
敷地面積	約8,600㎡(約2,600坪)
延床面積	約147,000㎡(約44,000坪)
階数/建物高さ	地上19階、塔屋1階、地下4階 / 約97m
用途	商業、オフィス、ホテル、カンファレンス他
総投資額	約900億円

スケジュール

2020.04	天神コア・ビブレ解体着手
2020.10	旧福ビル地上解体終了・地下解体着手
2020.11	国内最高水準の大型複合ビルに計画変更（外部環境変化への対応、商品性の向上）
2021.04	「DBJ Green Building 認証」取得
2021.12	・新築工事着手 ・(株)Plan・Do・Seeとホテルマネジメント契約を締結
2022.06	「LEED GOLD」予備認証取得
2024.12	竣工
2025年春	開業

福岡空港特定運営事業等（当社の持分法適用会社である福岡国際空港(株)が運営受託）

福岡国際空港(株)の計画業績への早期回復・経営安定化に向け、事業連携を継続

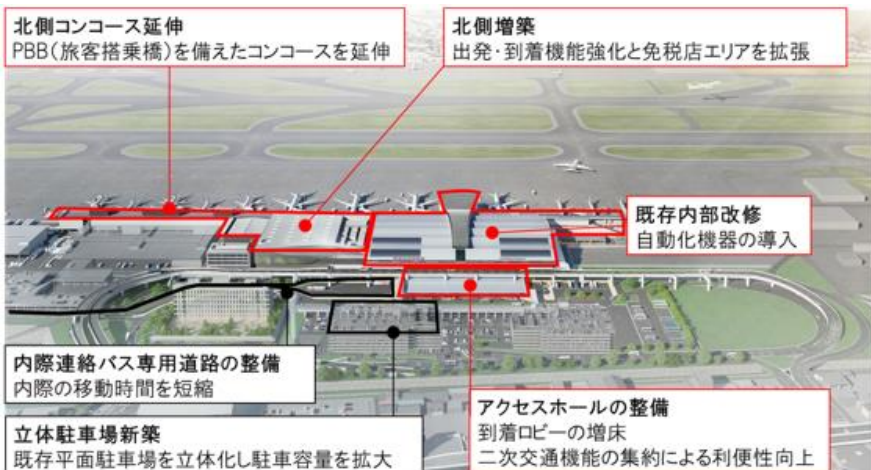
〔福岡国際空港(株)の取り組み〕 出典：福岡国際空港(株)

➤ 就航路線の復便および航空ネットワーク拡充に向けた取り組み

- ✓ 空港施設内における新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策、及び国と連携した水際対策の徹底
- ✓ 国内線・国際線の早期復便に向けたエアラインとの継続協議、更なる路線網拡充に向けた誘致活動の継続

➤ 魅力ある施設開発計画の推進

- ✓ 将来の航空需要を確実に受入れるべく、2022年5月、国際線旅客ターミナルビル増改築工事に着工



出所：特設計・HOK・西日本技術開発共同企業体

スケジュール

2019.04	空港運営事業の開始
2022.05	国際線旅客ターミナルビル増改築工事に着工
	国際線旅客ターミナルビル増改築竣工
2025年	増設滑走路供用開始(国による整備)
	国内線複合施設竣工 [商業施設・ホテル・バスターミナル]

〔当社の事業連携施策〕

- 福岡空港内を走行する「福岡空港ビューンとツアー」株式会社フジドリームエアラインズとのコラボ企画実施(22.06)
- ✓ オープントップバスで福岡空港内の普段は立ち入ることができないエリアを走行し離発着する飛行機を間近に体感
- ✓ FDAグッズのプレゼントや、車両内にFDAの飛行機などを装飾



旧大名小学校跡地活用事業 (事業参画)

天神ビックバンの西のゲート
 「スタートアップ&グローバル」新ビジネス拠点
 グローバル創業都市・福岡を具現化する、
 オフィス・商業を含む複合施設



- ✓ 施設名称「福岡大名ガーデンシティー」
- ✓ 竣工・全体供用開始 (22.12 予定)
- ✓ ホテル開業 (23年春 予定)

プロジェクト概要

所在地	福岡市中央区大名二丁目165番1,2及び3
敷地面積	約11,900 m ² (計画地面積[既存の南校舎敷地を除く]: 約10,000 m ²)
延床面積	約90,400m ²
階数/建物高さ	地下1階、地上25階/ 約111m
用途	ホテル、オフィス、賃貸マンション、商業、 公共施設他

青果市場跡地活用事業 (事業参画)

三井ショッピングパーク ららぽーと福岡
 〔九州初進出〕
 多様な人々が集い出会う多彩な“パーク”(広場)や
 コミュニティの拠点となる活気あふれる空間



- ✓ 22.04 開業
- ✓ 22.07 「キッズニア」開業
(観光バスパビリオンを出展)



プロジェクト概要

所在地	福岡市博多区那珂6丁目23-1 他 (福岡市青果市場跡地)
敷地面積	約86,600 m ² (約26,200 坪)
延床面積	約206,400 m ² (約62,400 坪) ※立体駐車場棟含む
構造規模	店舗棟：鉄骨造地上5階、地下1階建 立体駐車場棟：鉄骨造地上7階建2棟 他

重点戦略 3

持続可能で活力あるまちづくりの推進



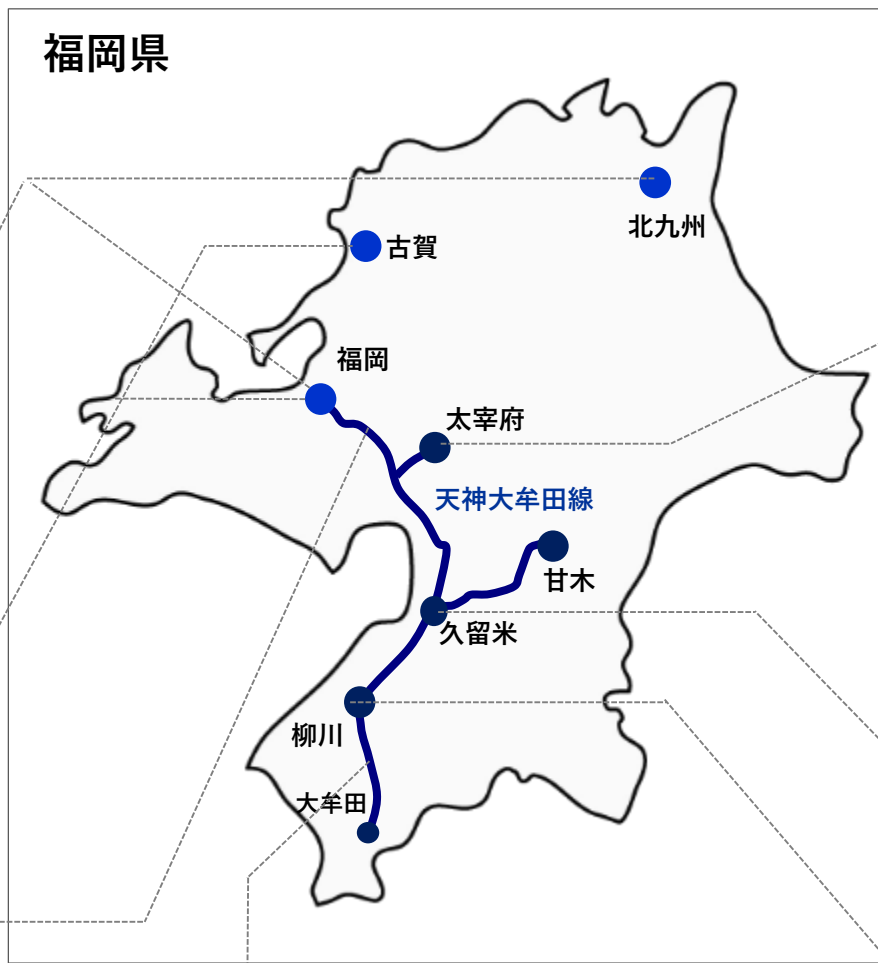
福岡・北九州エリアでの自動運転バス実証実験



AI活用型オンデマンドバス「のる〜と」の展開



連続立体交差事業に伴うまちづくり(雑餉隈〜下大利駅エリア)



古民家宿泊施設 HOTEL CULTIA 太宰府



西鉄久留米駅ビルリニューアル



THE RAIL KITCHEN CHIKUGO



西鉄柳川駅周辺整備事業 (イメージ)



(どんこ舟で川下り)

持続可能な交通ネットワークの実現

- ▶ **AI活用型オンデマンドバス「のるーと」の展開** ⇒ その他自治体においても導入に向け協議中
【ソリューション外販】

長野県塩尻市(22.04)、福岡県古賀市、福島県喜多方市(22.10)、
長野県安曇野市、福島県会津美里町(22.11)、三重県桑名市(22.12)



- ▶ **自動運転バス実証実験**

- ✓ 福岡空港 内際連絡バスでの実証実験(22.03/レベル2)
- ✓ 2025年頃のレベル4実装を目指し、引き続き、国のプロジェクトも活用し各地で実証実験を推進

※レベル4
特定の走行環境条件を満たす限定された領域において、自動運転装置が運転操作の全部を代替する状態

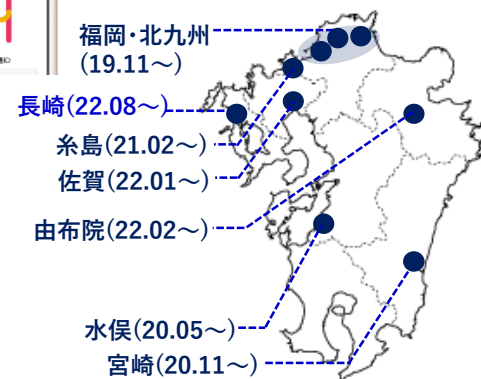


- ▶ **「my route」を活用したMaaSサービスの拡充**

- ✓ 導入エリアの拡大
⇒ 長崎県内でのサービス開始(22.08)
(サービス内容：マルチモーダルルート検索、デジタルチケット販売)
- ✓ 乗車券のデジタル化の促進
⇒ 福岡市のフリー乗車券の9割を「my route」で販売



▲デジタルチケット



▲九州内における「my route」の拡充

トピックス

「**天神・博多 乗レール買エールチケット**」を販売(22.09~11)
⇒ JR九州・昭和自動車 等と連携し、アプリ内でチケット販売
⇒ 天神・博多エリアの商業施設 15 施設と連携し、賑わいを創出

沿線主要拠点の開発プロジェクト推進

▶ 連続立体交差事業に伴うまちづくり (雑餉隈駅～下大利駅エリア)

- 2022年8月：雑餉隈駅、春日原駅、白木原駅、下大利駅
高架切替

- 2023年度：新駅
「桜並木」
利用開始

連続立体交差事業 開通式▶



▶ 西鉄柳川駅周辺開発事業

- ✓ 水郷柳川のシンボルである掘割を駅前まで引き込む
- ✓ 乗船場、水辺空間と一体となった広場や飲食、物販、観光案内所等からなるにぎわい交流施設を整備



▲西鉄柳川駅周辺整備事業
整備イメージ

- 2022年度：掘割工事着工【福岡県整備】
- 2025年度：にぎわい施設竣工（予定）

地域資源と連携した事業機会の創出

▶ 観光列車 THE RAIL KITCHEN CHIKUGO

- 地域資源と組み合わせたイベント列車の運行
- 自治体との連携による地域活性化・観光振興



THE RAIL KITCHEN CHIKUGO × SAGA



▲THE RAIL KITCHEN CHIKUGO × SAGA



▲筑後川花火大会特別コース

▶ 古民家宿泊施設 HOTEL CULTIA 太宰府

- 地域と連携した体験型コンテンツ造成
- ✓ 太宰府天満宮夜間正式参拝、九州国立博物館ナイトツアー



▲古香庵



▲梅花(左)、好古亭(右)

▶ (株)NJアグリサポート：六次化商品開発

沿線主要拠点の開発プロジェクト推進

【トピック】西鉄久留米駅ビル リニューアル (2024年9月 グランドオープン予定)

“行き交う人がちょっと一息つける、街の中のオアシス空間”

安全・安心な駅づくり、利便性向上による、更なる街の活性化や賑わい創出

エマックス・クルメ概要 (駅ビル内商業施設)

建物規模	地上6F
延床面積	14,521㎡
店舗数	31 店舗 ※2022 年9 月現在
売上高	約 43 億円 ※2021 年度実績
店舗構成	1 階 にしてつストア久留米タミー店 (スーパーマーケット) 等 2 階 専門店街、味のタウン (レストラン) 3 階 雑貨館インキュブ、シティコンタクト等 4 階 ブックセンタークエスト

リニューアル概要

実施期間	2022年9月～2024年9月
投資額	約17億円



▲飲食・食物販店舗入口

- にしてつストアのリニューアル(24.03 予定)
- バスセンター内店舗のリニューアル (南側店舗：23.06 北側店舗：23.09 予定)
 - ✓ 増床による飲食コーナーの更なる充実
- フードコートの新設(23.06 予定)
 - ✓ フードコート内にバス・鉄道の運行状況がわかるデジタルサイネージを設置
- 改札周辺環境改善
 - ✓ ピックアップロッカーの設置、テイクアウトに特化した店舗の誘致など、消費者ニーズの変化に対応したサービスを拡充



▲1Fバスセンター東口

ポストコロナの観光復活に向けた取り組み

▶ ポストコロナの観光需要獲得・将来の需要掘り起こし

鉄道	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「サイクルトレイン」の本格実施(22.03)
バス	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 公共交通利用による家族での外出機会創出への取り組み (小学生対象の子ども50円バスの実施) [22年4月29日～5月8日、7月20日～8月31日] ✓ 高速バス 福岡～長門湯本温泉「おとずれ号」運行開始 (22.07) ✓ 高速バス 福岡・福岡空港～熊本「ひのくに号子ども500円」(22.07)
ホテル	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 地域観光事業支援プランへの参画・活用 (全国旅行支援 等) ✓ ホテル所在地の観光団体等と連携した誘客促進 ✓ 多様なニーズに合わせた商品開発 (体験型プランの展開 等) ✓ 長期滞在者向け客室を設けたポストコロナの新仕様ホテルの新設・西鉄ホテル クルーム 博多祇園 櫛田神社前(23.04 開業予定)
旅行	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 地域観光事業支援プランへの参画・活用 (全国旅行支援 等)
レジャー	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 複合アウトドア施設「かしいのはまビレッジ」(22.04～) ✓ ワークーションサイト「QT わく楽ワークパーク」開業 (22.08) ✓ あつまれどうぶつの森とマリンワールドのコラボ企画実施(22.07)



▲福岡～長門湯本温泉「おとずれ号」



▲ひのくに号「子ども 500円バス」



▲西鉄ホテルクルーム 博多祇園櫛田神社前

▶ インバウンド需要の回復を見据えた取り組み

- ✓ Visaタッチ決済の本格実施に向けた実証実験(22.07～)
※福岡(天神)駅・薬院駅・大橋駅・太宰府駅・柳川駅



▲Visaのタッチ決済

ポストコロナの観光復活に向けた取り組み

【トピック】西鉄ホテル クルーム 博多祇園 櫛田神社前（2023年4月12日 開業）

ワーキングスペースや交流・くつろぎの場としての機能を兼ね備えた「サードプレイス（第三の居場所）」を提供

西鉄ホテル クルーム 博多祇園 櫛田神社前	概要
開業日	2023年4月12日
所在地	福岡県福岡市博多区祇園町6番30号
敷地面積	約1,596 m ²
延床面積	約8,006 m ²
建物構造	鉄筋コンクリート造（地上13階建て）
予約開始日	2022年11月1日
客室数	275室
フロア構成	・3～13階：ホテル客室 ・2階：フロントロビー、カフェ、ラウンジ（朝食会場、ワーキングスペース） ・1階：大浴場、コミュニティスペース



▲1階コミュニティスペース（屋内飲食スペース+屋外テラス）

➤ アクセスに優れた立地

- ✓ 天神・博多やキャナルシティ博多・中洲に近接
- ✓ 福岡市営地下鉄七隈線「櫛田神社前駅」（2023年3月 開業予定）から徒歩1分以内

➤ 地域コミュニティの形成

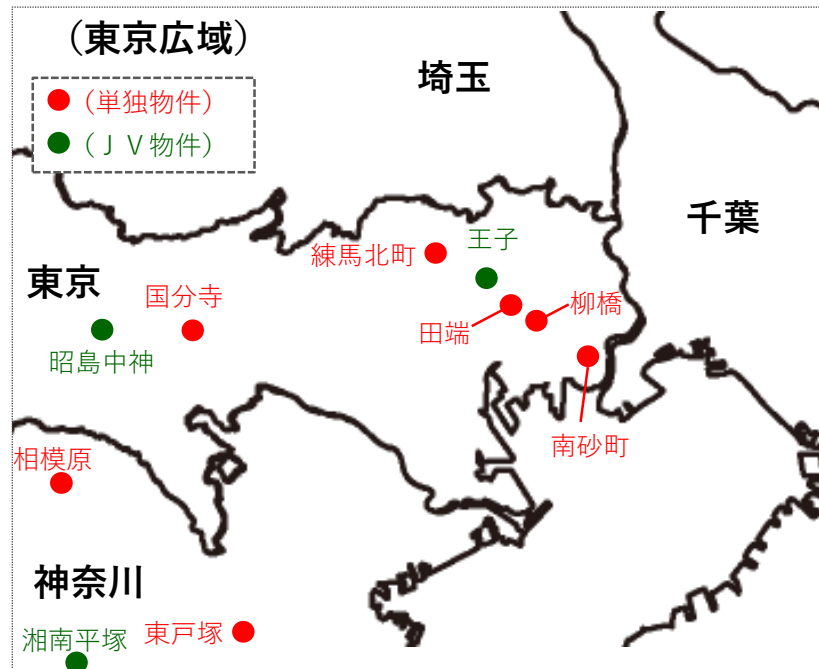
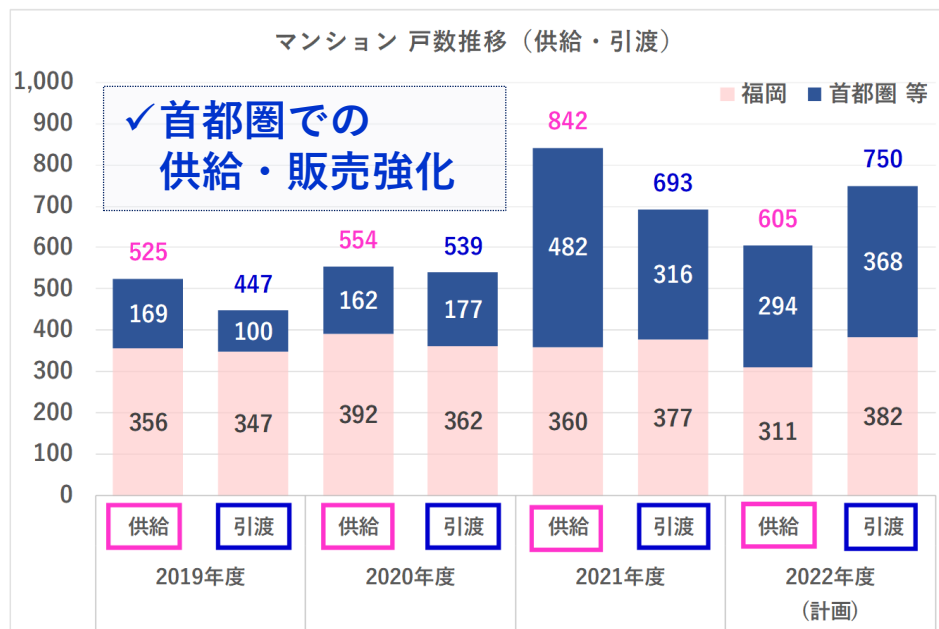
- ✓ 宿泊者と来街者、地域が交流できるコミュニティスペースを確保
- ✓ 来街者やビジネスパーソンもご利用可能なワーキングスペース、カフェ、ラウンジを設置
- ⇒ 宿泊者やビジネスパーソン、地元住民の垣根を越えてまちの賑わい創出を図る

➤ ポストコロナの多様なニーズに応える宿泊施設

- ✓ IoTを活用した自動チェックイン機、非接触インターフェースの導入による接触機会の減
- ✓ キッチンや洗濯乾燥機等を備えた「滞在型客室」や多様なルームタイプの提供

住宅事業

▶ 首都圏、福岡地区でのマンション供給状況



▲2022年度販売物件 (予定含む)

▶ 首都圏における収益不動産の開発・売却

- ・ 賃貸マンション開発における循環型投資モデルの構築 (開発 ⇒ 保有・運用 ⇒ 売却 ⇒ 再投資)
- ・ オフィスや倉庫等の事業展開も検討



▲分譲マンション
サンリヤン相模原
ステーションヴィラ (神奈川県)

▲分譲マンション
ブライトクロス博多 (福岡県)

国際物流事業

ロジスティクス事業の拡大

トピックス

✓ 福岡ロジスティクスセンター 開業(22.09)



- ・ 空港、港、都市高速環状線に近く、航空・海上輸送サービスの提供に適した立地
- ・ 福岡の底堅い物流需要への対応
- ・ 福岡地区に複数ある倉庫を集約し、業務効率化を図ることで、九州発着の輸出入貨物の取扱いを拡大

品目戦略の推進による営業強化

- ・ 強化品目のセールス拡大による収益拡大
- ✓ 強化品目 … 航空宇宙関連・自動車関連・半導体関連・食品関連・繊維関連

フォワーディング事業の拡大

- ・ 運賃仕入の最適化
- ✓ ゲートウェイ施策の推進
- ✓ 混載効率化の推進

流通事業

新規店舗の拡充

- ✓ レガネット DAILY ENTERTAINMENT SQUARE 三井ショッピングパークららぽーと福岡店 (22.04)
- ✓ レガネットマルシェ下大利駅 (22.09)
- ✓ レガネットキュート赤坂門店のサテライト店 (無人店舗1号店) (22.07)

デジタル活用・他社アライアンスによる販促強化

- ✓ 楽天ポイント・楽天Edy導入(22.04～順次導入)



海外事業

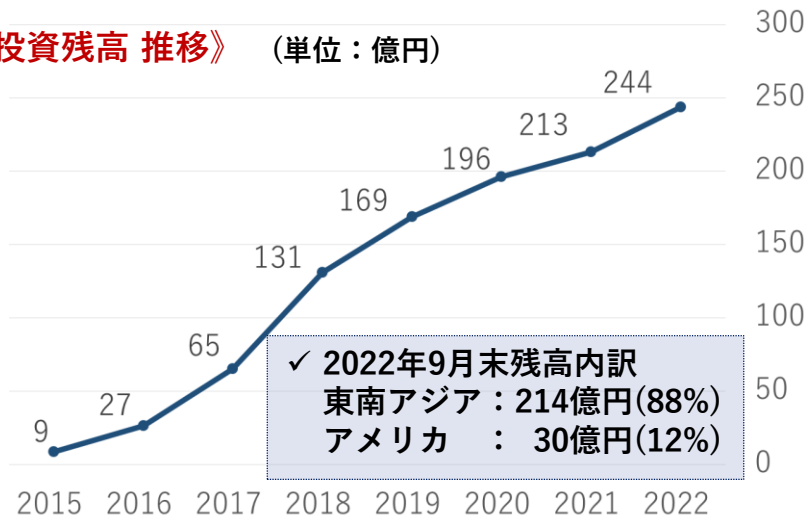
新規進出国での事業展開および既存進出国における安定した収益確保

⇒住宅・収益不動産の拡大、物流倉庫・オフィス・ノンアセットビジネスなどの検討

《現在進行中の案件》

東南アジア(マンション・戸建・タウンハウス[TH]・ショップハウス[SH])				
物件名	地域		総戸数	進捗状況
MIZUKI PARK	ベトナム	ホーチミン	マンション：4,040戸 戸建・TH：96戸	販売中
AKARI CITY		ホーチミン	マンション：5,078戸	販売中
WATERPOINT		ロンアン	戸建・TH：2,962戸	販売中
(未定)		ハイフォン	マンション：2,159戸 戸建・TH：739戸	-
PARAGON(仮)		ドンナイ	戸建：517戸	-
The Crest	タイ	バンコク	マンション：418戸	販売中
Zora	インドネシア	南タンゲラン	戸建・SH：682戸	販売中
Sayana Apartments		ブカシ	マンション：1,531戸	販売中
The Veranda		南ジャカルタ	マンション：767戸	販売中
ASERA NISHI		ブカシ	戸建：397戸	販売中
Premia Estate 2		南ジャカルタ	戸建：416戸	販売中
Premia Estate 3	南ジャカルタ	戸建：445戸	販売中	
MIDORI	フィリピン	アンティポロ	マンション：462戸	販売中

《投資残高 推移》 (単位：億円)



✓ 2022年9月末残高内訳
東南アジア：214億円(88%)
アメリカ：30億円(12%)

アメリカ(賃貸マンション)			
物件名	地域	総戸数	進捗状況
Parkside Residences at Discovery Green	ヒューストン	賃貸：307戸	リーシング中
Alexan Main Street	ボセル	賃貸：369戸	リーシング開始前

トピックス

✓フィリピン初進出(22.07)
～マニラ近郊での実需向け
低層マンションの開発～
⇒フィリピンの住宅
デベロッパーとの共同開発



▲完成イメージ

顧客体験の向上



▶ LINEを活用した西鉄グループのDX推進

✓ 順番待ちサービスから予約・購入サービスの提供へ

活用状況

- ✓ 天神定期券発売所順番待ち(21.03)
- ✓ マリンワールド順番待ち(21.04)
- ✓ 西鉄ストア予約注文(21.06)
- ✓ 鉄道サイクルトレイン予約(22.03)
- ✓ 西鉄ストアモバイルオーダー[決済機能追加](22.03)
- ✓ にしてつキッズこども体験スクール[参加予約](22.07)

Nishitetsu Group with LINE



▶ にしてつストア無人店舗オープン(22.07)

✓ にしてつストア「無人決済システム」を採用した「レガネットキュート赤坂門店のサテライト店」をオープン

▶ 【商業施設】リアル店舗とお客さまを繋ぐオンライン決済サービス「DIRECT STORE」

✓ リアル店舗と直接連絡を取り合い、店舗商品をオンライン上で購入できるサービス（サービス対象：28店舗）



▲ ソラリアプラザ
オンライン決済サービス
「DIRECT STORE」

『2050年カーボンニュートラル達成』に向けた取り組み

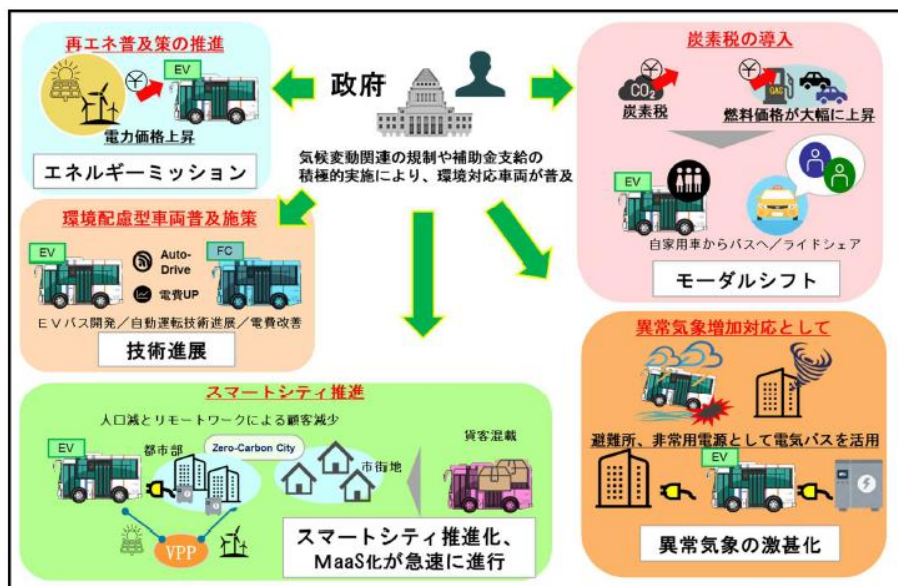
- TCFD提言への賛同表明および適切な開示の実施
- ✓ TCFD提言への賛同表明 (22.03)
[バス部門のシナリオ分析の公表]
⇒ 「ガバナンス」「戦略」「リスク管理」「指標と目標」について開示
- ✓ TCFDシナリオ分析の他事業への展開

- (バス事業) 中古バスを改造した「レトロフィット電気バス」の製作開始・導入
- ✓ レトロフィット電気バスの製作を開始するとともに、完成した電気バス2台を福岡地区へ導入(2023年4月以降運行開始予定)
- ✓ 台湾最大手電気バスメーカーRAC Electric Vehiclesと連携



レトロフィットバス

◇1.5°Cシナリオにおける世界観 (2050年)



- CDP質問書への回答を通じた環境情報の開示(22.07)
- 各自治体のSDGs登録制度等への登録北九州市(21.11)、福岡市(22.07)
- ✓ 「働く人」のWell-beingの向上とSDGsの達成に向けて取り組む事業者を応援



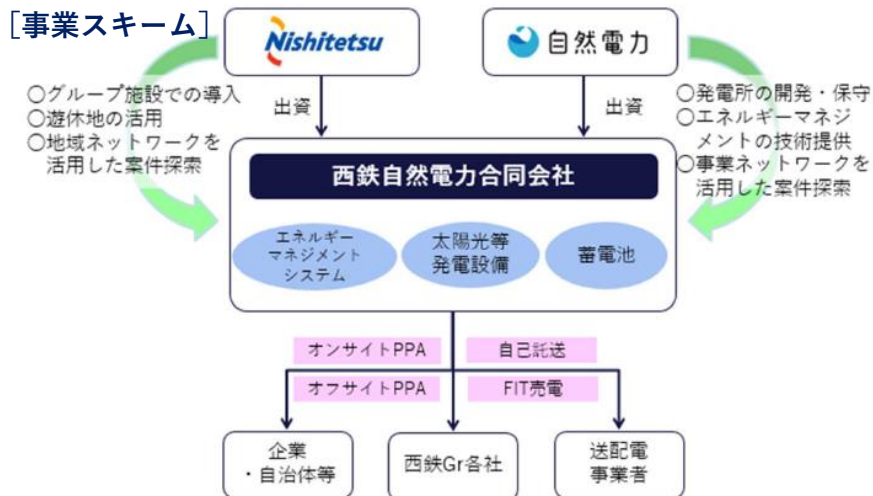
社会課題の解決に資する新領域事業の検討

再生可能エネルギーに関する事業検討 (コーポレートPPA事業)

- ✓ 自然電力(株)と合同会社を設立(22.04)
- ✓ 2025年度までに太陽光など再エネ電源30MWの開発を目指し、西鉄グループや九州の脱炭素化を推進



博多国際展示場&カンファレンスセンター (太陽光発電実施予定)



トピックス

- ✓ **カーボンニュートラル実現・SDGs 推進に関する包括連携協定**

(八女市・日創プロニティ・西鉄自然電力)

⇒八女市公共施設における再エネ電力の導入検討 他

その他の取組

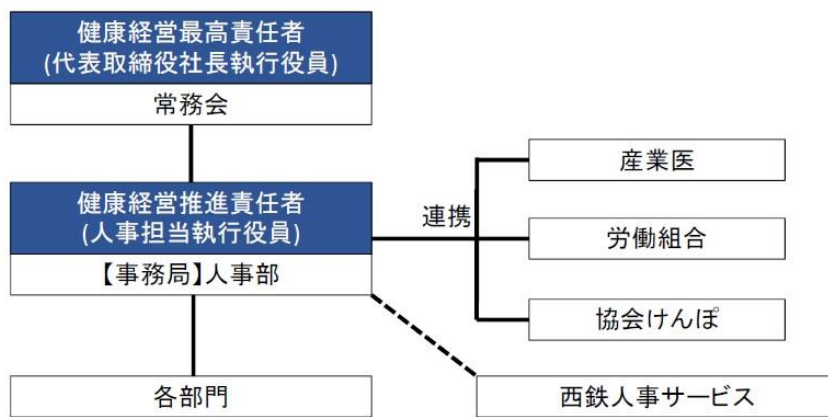
「パートナーシップ構築宣言」の公表 (22.09)

- ✓ サプライチェーンの取引先の皆様や価値創造を図る事業者の皆様との連携・共存共栄を進めることで、新たなパートナーシップを構築

西鉄グループ健康宣言の制定(22.09)

- ✓ 本宣言に基づき、西鉄の推進体制、具体的な取り組み、健康経営に関する指標(KPI)を定め、健康経営を推進

健康経営の推進体制



安全・リスクマネジメントの強靱化

安全・あんしんの追求

3 すべての人に健康と福祉を

11 住み続けられるまちづくりを

16 平和と公正をすべての人に

➤ 駅施設のバリアフリー化の促進

✓ 「鉄道駅バリアフリー料金制度」を活用した駅施設整備

- ⇒ 西鉄福岡(天神)駅のホームドア、旅客案内設備やバリアフリートイレの整備など駅施設のバリアフリー化を推進
- ⇒ 鉄道駅バリアフリー料金として1乗車あたり10円を基本として加算



ICTを活用した安全性の維持・高度化

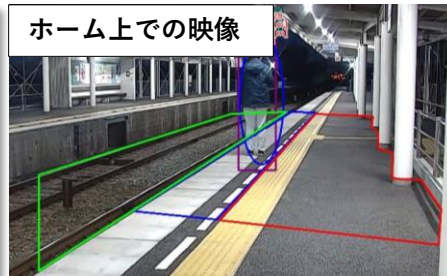
➤ 鉄道駅・車両の安全性の高度化にむけた実証実験の実施

✓ 駅ホームの安全性向上に向けた実証実験

(駅ホーム安全監視AIカメラ・2Dセンサー)

ホーム上や改札のリアルタイム映像データをAI解析
線路内への転落やホーム上の転倒などの異常を検知
サポートセンター係員に通知

▼ 駅ホーム安全監視AIカメラ



✓ 鉄道車両状態監視システムを用いた実証実験

車両機器の動作状態をリアルタイムで監視し、
蓄積データを基に故障の兆候を掴み、故障を未然に防ぐ

▼ 鉄道車両状態監視システム_システム画面

走行位置 (マップ表示)

運転状況 (グラフ表示)

発報情報一覧

故障発生内容	設備名称	検知名称	列車	アーム番号	値	発生時刻

電車の詳細な情報

機種状態

路線	天神大牟田線
種別	急行
始発	福岡(天神)
行先	21 大牟田
速度	18 km/h
キロ程	9.6 km
現在駅(前駅)	春日原
次駅	下大利
運行方向	大牟田方
先頭車/尾灯	P3
GPS緯度	33.536138
GPS経度	130.473320
乗車率[1号車]	44 %
乗車率[2号車]	39 %
乗車率[3号車]	39 %

- ・本システムには東芝デジタルソリューションズ(株)が提供するMeister RemoteX™を採用しています。
- ・地図は、OpenStreetMap®を利用しています。詳しくは、openstreetmap.org、opendatacommons.org、creativecommons.orgを参照ください。

“修正”第15次中計(2019～2022)主要プロジェクトスケジュール




“修正”第15次中期経営計画

		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度～
重点戦略1 聖域なき構造改革・事業モデル変革とポートフォリオマネジメントの見直し						
回復の見込みが立たない赤字事業からの撤退			●マリエラ運航終了	●西鉄イン心斎橋(‘21.4売却) ●西鉄イン蒲田・名古屋錦(‘22.3売却)	●かしいかえん閉園 ●西新バレス閉鎖	
従来の需要が戻らない前提での事業モデル変革			●バルチケット6発売終了	●ニモカ乗車・ボーナスポイント廃止 ●バス100円エリア⇒150円エリアへ ●GP65価格見直し ●終電繰上げ、減便	●福岡地区都市高速系統値上げ ●高速バス路線一部値上げ	
重点戦略3 持続可能で活力あるまちづくりの推進						
福ビル街区建替プロジェクト			解体工事		建設工事	●2025年春 開業
旧大名小学校跡地活用事業				建設工事	●2022年12月 竣工	●2023年春 ホテル開業
青果市場跡地活用事業				建設工事	●2022年4月 竣工・開業	
博多国際展示場&カンファレンスセンター			建設工事	●2021年4月 開業		
福岡空港特定運営事業等	●空港運営事業の開始		福岡国際空港株の計画業績への早期回復・経営安定化に向け、事業連携を通じた支援を継続			●2025年 国際線旅客ターミナルビル増改築竣工 ●2025年 国内線複合施設竣工
雑餉隈～下大利連立高架事業			高架橋工事・自治体協議駅部設計など		●2022年8月 高架切替 (雑餉隈・春日原・白木原・下大利駅)	●2023年度 桜並木駅 開業
持続可能な交通ネットワークの実現	●次世代オンデマンドバス「のるーと」運行開始 ●トヨタ自動車との協業による“my route”の本格実施		●自動運転バス実証実験 (北九州エリア)	(のるーと) 運行形態の転換やソリューション外販の更なる展開 (my route) チケットのデジタル化推進、交通モードの連携、データ活用推進、事業エリア拡大		
重点戦略4 住宅・流通・国際物流・海外事業の収益拡大						
住宅事業	首都圏など域外の供給強化	●成増、小岩、本厚木	●北綾瀬、西国立、大森西	●平塚、横浜鶴見、王子、昭島 他	●相模原 他	
海外事業	東南アジア・アメリカでの開発事業拡大	●ベトナム2案件完了	●ベトナム1案件完了 ●アメリカ1案件完了	●アメリカ2案件完了	東南アジア・アメリカでの開発事業拡大 (物流倉庫・オフィスなど)	
					[2023年度]	●インドネシア1案件完了予定 ●アメリカ1案件完了予定

(西鉄グループ)サステナブル経営の重要課題における各事業の取り組み内容およびアクションプラン

	重要課題	取り組み内容	アクションプラン	SDGs
E	環境と調和ある事業活動の推進	脱炭素社会実現	<ul style="list-style-type: none"> • TCFD提言への賛同・適切な開示の実施(バスのシナリオ分析公表/2022.3) • 省エネ車両への代替促進 • E Vバスの導入推進 (中古車両を安価に電動化した「レトロフィット電気バス」) • 新福ビルの環境性能強化 (地域熱供給システム導入によるCO2排出量削減) • グリーンロジスティクスへの取組 (モーダルシフト、集約配送、梱包資材削減・再利用) • 国際輸送区間におけるスコープ3排出量の把握・提示方法の検討 • ESGファイナンス導入検討 	
		循環型社会実現	<ul style="list-style-type: none"> • フードロスの取り組み(フードドライブの実施、(株)西鉄ストアの食育活動) • 西鉄ビルマネージメント(株)における食品リサイクル事業の拡大検討 • ホテルのエコ清掃(連泊者のリネン交換を簡素化) 	
		新領域事業	<ul style="list-style-type: none"> • 再生可能エネルギーに関する事業(「西鉄自然電力合同会社」設立) • 水素等の蓄電機能に関する研究 • 木質バイオマス事業をはじめとした山林関連事業の検討 • 九州メタル産業(株)における再生プラスチックの事業研究 	
S	安全・あんしんの追求	ICTを活用した安全性の維持・高度化	<ul style="list-style-type: none"> • 新型ドライブレコーダーの導入拡大 • AIによる駅の安全性向上(監視カメラをAI解析し、異常検知を係員に通知) • ICTを用いた効率的な鉄道施設点検の実証実験実施 (ドローンによる鉄道施設点検の効率化・車両状態監視システムの実証実験) 	

(西鉄グループ)サステナブル経営の重要課題における各事業の取り組み内容およびアクションプラン

重要課題	取り組み内容	アクションプラン	SDGs
S 持続可能で活力あるまちづくりへの貢献	福岡都心の大型開発プロジェクト推進	<ul style="list-style-type: none"> ・社会情勢の変化にあわせた天神の目指すべき将来像や実現戦略のアップグレード ・次世代型まちづくりの推進(国際金融都市、ゼロカーボン) ・公共空間の日常的な活用に向けた検討 ・「感染症対応シティ」「国際金融拠点都市」に相応しい福ビル街区建替計画の実現 	 9 産業と技術革新の基盤をつくろう  11 住み続けられるまちづくりを
	沿線主要拠点の開発プロジェクト推進	<ul style="list-style-type: none"> ・沿線の大型公募案件への参画検討 (箱崎九大跡地[福岡市東区]) ・鉄道駅・バス拠点を核として地域特性に応じたコンパクトで賑わいのあるエリア形成に向けた再開発事業の検討・実施 ・連続立体交差化事業の高架切替、高架下を活用したまちづくり 	
	持続可能な交通ネットワークの整備	<ul style="list-style-type: none"> ・郊外部における新型オンデマンドバス「のーと」の展開 ・自動運転バス実証実験への積極的な参画・推進 (福岡空港内で大型自動運転バスを用いた実証実験) ・他交通事業者との連携強化(JR九州等) 	
	ポストコロナの観光復活に向けた取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・他交通事業者と連携した観光客の利便性向上 (九州内で利用可能な連携チケットの検討) ・QR企画乗車券の導入 ・Visaタッチ決済の本格実施に向けた実証実験 	
	地域資源と連携した事業機会の創出	<ul style="list-style-type: none"> ・NJアグリサポートの産品や沿線産品活用による六次化商品開発 ・「THE RAIL KITCHEN CHIKUGO」を活用した地域連携活動の推進 ・「HOTEL CULTIA 太宰府」における地域との連携(体験型コンテンツの創出) 	
お客様満足の上	お客様の声に答える取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・お客様の声について社内フィードバックの実施 	 11 住み続けられるまちづくりを

(西鉄グループ)サステナブル経営の重要課題における各事業の取り組み内容およびアクションプラン

重要課題	取り組み内容	アクションプラン	SDGs	
S	働きやすい・働きがいのある職場づくり	<ul style="list-style-type: none"> ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョン(DE&I)の実現 ワークライフバランスの推進 	<ul style="list-style-type: none"> 多様な人材の活躍に向けた取り組み (女性活躍の推進や外国人の雇用) テレワーク等の多様な働き方の提供 健康経営優良法人認定取得に向けた取り組み 西鉄グループ健康宣言の公表 デジタル技術の積極導入による職場環境改善 	
	人権の尊重	誰ひとり取り残さない社会の実現	<ul style="list-style-type: none"> 安心して共生する環境づくり[バリアフリー、環境整備] (鉄道駅の安全性の高度化[2Dセンサー・AIカメラ]、駅ホームドアの設置、バス停ベンチプロジェクトの推進[福岡市との協働]) 多様な世代が共生する地域づくり[高齢者、子育て世代] (シニアマンションの開発・充足、車両への車いす・ベビーカースペース設置) 性的マイノリティへの配慮[ジェンダーフリー] (nimoca券面への性別記載廃止、ジェンダーフリートイレの設置) 外国人との共生[多言語表記等] (鉄道・バス車両の行先表示器・企画乗車券等における多言語表記、車両・駅構内での外国語案内、駅ナンバリング) 	
	人権意識の向上	<ul style="list-style-type: none"> 継続的な人権研修の実施 人権に関する方針策定 (西鉄グループ調達基本方針の制定、西鉄グループ人権方針の制定) 		
	コーポレート・ガバナンス	リスクマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> リスクマネジメントサイクルの制度化・試行、有価証券報告書等での対外公表 危機対応体制(自然災害)の整理と訓練等の継続 (水害発生時の対応、エリア毎の危機対応) 	
G	コンプライアンス	コンプライアンス意識の啓発	<ul style="list-style-type: none"> コンプライアンスセルフチェック見直し 	

まちに、夢を描こう。



本資料には、将来の業績に関わる記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を含んだものです。将来の業績は経営環境の変化などにより目標と異なる可能性があることにご留意ください。